

貴金属リサイクル事業セグメント



美しい輝きを放つ金・銀・プラチナ・パラジウムなどの貴金属。
これらの貴金属は宝飾用としてだけでなく、電子材料分野等の産業用として重要な役割を果たしています。

人類が金と出会ってからこれまで地球から掘り出された金の総量は約15万トンといわれています。これは公式競技用のプールに換算するとわずか3杯分に過ぎません。さらにプラチナの生産量は金の約1/30といわれ、含有量も非常に少なく、原鉱石1トンから約3gしか採取できません。また、一般的に「レアメタル」とよばれる希少金属は世界的に生産量の少ない金属でありながら、特殊な性質をもつことから先端技術分野で使用されるキーマテリアルとなっています。

貴金属・希少金属の再生・再利用が行なわれないとすれば、これらの資源は近い将来枯渇することが予想されます。

アサヒブリテックグループは創業以来培った分析・精製・熔錬技術を結集し、電子材料・FPD・触媒・歯科材料・宝飾加工材料等の各分野で地球上の限られた貴金属・希少金属の資源リサイクルにつとめています。

貴金属リサイクル事業セグメント

電子材料関連

エレクトロニクス分野では、メッキ液に含まれる貴金属を中心としたリサイクル事業に取り組んできました。独自開発の電解式金回収装置「ZIPANG」や電解式銀回収装置「PLATA」は、ユーザーの製造ラインにシステムとして組み込むことによって、高い回収率での貴金属回収を実現します。ユーザーごとに異なる薬品成分に対応し、電気分解方式、イオン分解方式など最適な回収技術を提供しています。また、半導体・電子部品製造工程での貴金属回収、リサイクルのニーズに卓越した技術で対応しています。

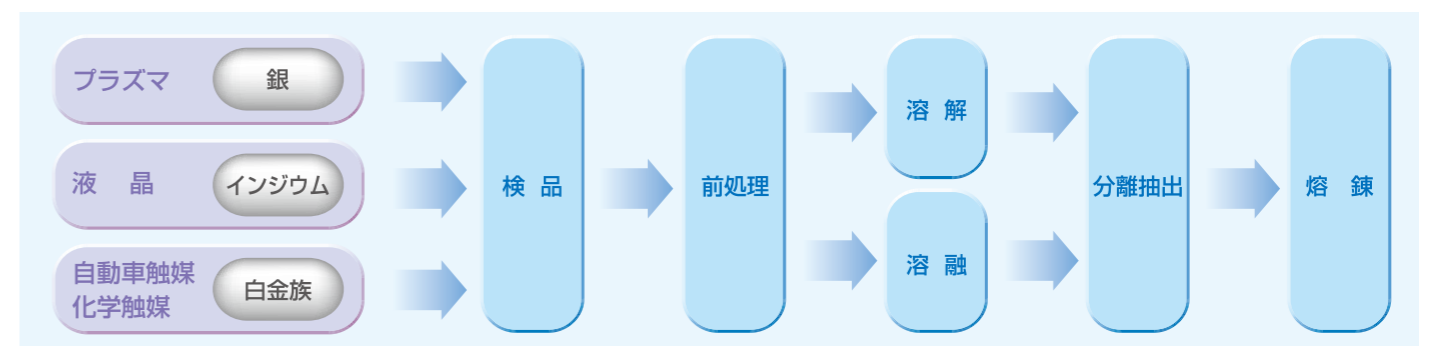
貴金属メッキ液からの金・銀回収フロー



FPD・触媒関連

液晶テレビ、プラズマテレビなどに代表されるFPDの分野では、希少金属であるインジウム、貴金属の銀などが使用されています。インジウムは光をよく通し、電気特性にも優れているため、液晶パネルの透明電極材として使われています。

触媒分野では、大気汚染防止法、自動車分野におけるNOx・PM法など、排出ガスに対する環境規制の高まりを受けて、希少資源である白金族系貴金属の使用が年々増加傾向となっています。当社は独自の技術ノウハウにより、これら触媒分野からの白金族系貴金属のリサイクルに取り組んでいます。



福岡事業所内に新工場を建設、世界最大級のインジウムリサイクル工場に

貴金属リサイクル事業のさらなる強化を図るため、2006年7月、福岡事業所内に新工場の建設を開始、2007年度上期に竣工します。生産設備としては世界最大級のインジウムリサイクル工場です。



福岡工場